

1969年鳥取県生まれ。85年国立米子工業高等専門学校卒、93年横浜国立大学卒、95年横浜国立大学大学院修了。95～04年妹島和世建築設計事務所/SANAA。04年吉村寿博建築設計事務所設立。04年～横浜国立大学非常勤講師。05年～金沢科学技術専門学校非常勤講師。

〒920-0855 石川県金沢市武蔵町14-31
ITBP 武蔵 4B2
Tel 076-224-6340
URL www.yoshimura-archi.com



ショップをやる機会があったんですが、その時の2人、本当に熱心だったんですが、その後も2人の姿勢や考え方に興味があって、それが引つ掛かって、秋ぐらいに「行くなら妹島さんのところしかないな」と心に決めて、短期間だけバイトに行かせてもらって、最終的には修士論文発表の翌日から事務所に入りさせてもらえることになりました」

就職して間もなく青島幸男が都知事に当選したことにより東京都市博のプロジェクトが中止となった。新人時代の初仕事で印象的だったのはハウジング・ステディという集合住宅の研究。助成金が出るプロジェクトであり、3年程かけていろんな敷地要件の中でどういう集合住宅の形態があり得るかということの研究した。低層の場所から高層の街まで、集合住宅のあり方としてまとめるものだったが、これが面白く勉強にもなったという。しかし、社会人になったばかりで実務レベルではついていけないことも

多かった。「本当に大変なことだなと思いました(笑)」。すこく月並みかもしれないですが、やっぱり想像を絶するというか、妹島さんと西沢さんは本当にとことんやる人なので、案が決まるまでにすこく時間がかかるんですけど、1個の案が決まるまでにすこくたくさんアイデアを出して、それから拾い上げていって、徐々に1つにまとめていくんです。でも、案が決まってほっとしたのもつかの間、

実施設計という細かい図面を描きだすと、それはそれでもろろん知らないこともいっぱいあるし、当然なんですけど、全部決めないと図面ができない(笑)。でも、やっぱり自分で働いてみないと分からなかったんですよ。で、これは途方もない仕事量というか、本当にすこいことをやっているんだなというのを実感しましたね。最初は本当に気が遠くなりましたね。こんな作業が全部終わるのかなと思いつながらマルチメディア工